



むら せ
村瀬
(至誠)



企業版ふるさと納税について実行計画を立て企業の理解と協力を得ることについて

問 企業版ふるさと納税について詳しく知らない市民に、あえて説明をお願いします。

部長 国が認定した地方自治体の地方創生事業に対して企業が寄付した場合、最大で寄付額の9割の法人税等が軽減される。また、官民連携による地域課題の解決につながる。

問 企業版ふるさと納税の件数と寄附金額はそれぞれいくらであったか。

部長 平成29年度から令和5年度まで、延べ寄附件数は34件、4820万円である。

問 市長自ら企業に赴くトップセールスの気持ちに変わりはないか。

市長 企業版ふるさと納税は、自治体にとって新たな財源の確保や企業にとって宣伝広告の

手段の一つになるだけでなく、双方にとって新たなパートナーシップの構築、官民連携による地域課題の解決に向けたきっかけづくりになると考えている。以前の寄附の実績の中には、私が企業に対してトップセールスを行い寄附をいただいた企業も何社もある。今、富士宮市では商工会議所を中心に大手八社やそれ以外の企業の皆様とは良好な関係を保っており、企業が活動しやすいような環境づくりにも取り組んでいる。今後も御寄附をお願いする企業に対して、共感を呼べるような魅力あふれるプロジェクトを全国の企業に向けて発信していく。また、首都圏などへのトップセールスについても、コロナ禍により中断されていたが、必要となれば私もトップセールスに伺い、多くの企業に御寄附いただけるように努める。

意見 以前、富士宮市は大変財政が厳しく、給与や議員報酬を6%カットし、現在は健全財政ではあるが、企業版ふるさと納税の寄附をいただき市民生活の安定化を図りたいものである。



すず き
鈴木
(至誠)



災害対応としてトイレトレーラーと水再生処理シャワー等の導入について

問 トイレトレーラーの導入を考えられないか伺う。

部長 トイレトレーラーは、1台で利用できる人数も限られ、導入経費や経常経費が携帯トイレに比べ高額であること、導入後の運用や利用方法が不明確であることなど課題も多く、市での導入は考えていない。

問 水再生処理シャワーの導入はいかがか。

部長 トイレトレーラーと同様、導入経費が高額で経常経費も必要であり導入は考えていない。

こどもの視力低下について

問 市内の小中学生の視力1.0未満の割合の推移を伺う。

教育長 令和元年度から令和5年度までの推移

は、小学校26.8%、28.4%、25.6%、28.5%、28.7%。中学校では、48.9%、44.8%、52.9%、55.0%、48.4%となっており、急激に増加しているとはいえないが、増加傾向にある。

問 目の保健指導について伺う。

教育長 文部科学省が令和4年3月に改定した「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのハンドブック」や令和5年9月に出した「子供の目の健康を守るための啓発資料」を活用しながら取り組んでいる。

富士宮市の観光について

問 インスタ映えする「文字モニュメント」を提案するがいかがか伺う。

部長 新たな観光資源として期待できる。調査研究を丁寧に行い、慎重に検討していく必要があると考える。

問 白糸自然公園を四季ごとのホワイトガーデンとすることを提案するがいかがか伺う。

部長 さらなる魅力向上つながると考える。調査研究をしていきたい。